

令和6年第11回 安芸太田町教育委員会議録

招 集 年 月 日	令和6年11月19日 (火)		
招 集 場 所	川・森・文化・交流センター3階 エコ学習室		
開 閉 会 日 時	開 会	令和6年11月19日 (火) 午前9時30分	
	閉 会	令和6年11月19日 (火) 午前10時46分	
出 席 ・ 欠 席 委 員	出席委員	大野正人・池野博文・清胤祐子・河本千絵・小田純子	
	欠席委員		
職務により会議に出席した者	教育次長	園田哲也	
	課長	瀬川善博	
	主幹	清水裕之	
	主幹	亀岡圭太	
	主幹	佐々木裕美	
会議に付した事件及び採決結果	議案第29号	安芸太田町教育支援委員会委員の委嘱について	原案可決
報告協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 服務規律の厳正確保と懲戒処分の指針の一部改正について 2 冬季一斉閉庁について 3 専決処分の報告について <ul style="list-style-type: none"> ・安芸太田町教育振興基本計画検討委員会委員の委嘱について 		

【 議 事 録 】

日程第1 開会

(午前9時30分開会)

教育長)

皆さま、おはようございます。本日は皆様ご出席でございます。本日の会議議題はお手元のとおりでございます。議案・報告協議のうち公開になじまないものがあれば、最後にまわして審議したいと思いますがいかがでしょうか。

清胤委員)

議案第29号安芸太田町教育支援委員会委員の委嘱については人事に関する案件ですので審議は非公開が適当ではないかと思えます。

教育長)

他にご意見はございませんでしょうか。

(意見なし)

教育長)

それでは、ただいまの清胤委員の発議について採決いたします。

議案第29号安芸太田町教育支援委員会委員の委嘱については公開しないということに賛成の方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

教育長)

全員賛成と認めます。従いまして、本日の議題は議案29号を公開しないで審議することといたします。

日程第2 教育長報告

(以下の項目について報告)

1 10月・11月の学校園所、教育長の状況

10月

- ① 教育委員訪問 (1日・17日・22日)
- ② 校長中間面談 (2日)
- ③ 加計小学校、戸河内小学校運動会 (5日)
- ④ 八幡神社秋祭 流鏝馬神事 (6日)
- ⑤ 遊び学び育つ安芸太田っ子の集い (9日)
- ⑥ 園・所長研修会 (10日)
- ⑦ 令和6年度山県郡小学校陸上競技会 (11日)
- ⑧ 戸河内あすなろ園設立20周年記念式典 (13日)
- ⑨ 加計高校学校運営協議会及び活性化協議会 (15日)
- ⑩ 科学アカデミー (19日)
- ⑪ 龍姫湖祭、第9回安芸太田町文化・芸能フェスティバル (20日)

- ⑫ 安芸太田町人権啓発セミナー（21日）
- ⑬ 部活動地域連携検討協議会（22日）
- ⑭ 加計小学校教育講演会（23日）
- ⑮ 黎明館寮生会（24日）
- ⑯ 第3回中教審生涯学習特別部会（25日）
- ⑰ 登山競技中国大会開会式（25日）
- ⑱ 森のようちえん保育士研修会、子育て研修会（26日）
- ⑲ あきおおた国際音楽祭（27日）
- ⑳ ハロウィンパーティー（28日）
- ㉑ 学校運営協議会／加計小（29日）
- ㉒ 令和6年度広島県市町教育委員会教育委員研修会（30日）
- ㉓ 図書館会議（31日）

1 1月

- ① 園・所長研修会（1日）
- ② 安芸太田町立中学校合同文化祭（3日）
- ③ 津浪地区人権研修会講演（5日）
- ④ 教育長ミーティング／加計小・加計中（6日）
- ⑤ 山県郡へき地教育研究大会（8日）
- ⑥ 学習発表会／筒賀保小・戸河内小（9日）
- ⑦ 第65回広島県公立小中学校教頭研究大会（12日）
- ⑧ 学校運営協議会／筒賀小（13日）
- ⑨ 修道地域との意見交換会（13日）
- ⑩ 学校運営協議会／加計中（14日）
- ⑪ 学校運営協議会／安芸太田中（15日）
- ⑫ 芸北管内教育長会議（15日）
- ⑬ 生活発表会／こども園とごうち・修道保育所（16日）
- ⑭ 校長ヒアリング（18日）
- ⑮ 教育委員会会議（19日）
- ⑯ 町校長研修会（20日）
- ⑰ 学校運営協議会／戸河内小（20日）
- ⑱ 黎明館寮生会（20日）
- ⑲ 安芸太田町人権啓発セミナー（21日）
- ⑳ 総務常任委員会学校視察／筒賀小・安芸太田中（22日）
- ㉑ 愛ネットワーク安芸太田町会議（26日）
- ㉒ 森のようちえん視察／広島大学附属幼稚園（28日）
- ㉓ 教育振興基本計画検討委員会（28日）

2 令和6年度広島県市町教育委員会教育委員研修会

3 森のようちえん保育士研修会、子育て研修会

4 教育振興基本計画検討委員会

5 町民の声

○地域連携

○学校・園・所の適正配置

教育長)

足早に私の報告となりましたけれども、以上の所を踏まえて、教育委員より学校園所へ訪問していただいておりますので、感想も含めながらご意見を頂戴できればと思います。

清胤委員)

ご報告を受けて2点、まず1点目は修道保育所の設置に関する事なのですが、両面な意見が出たというの、まあそうかなと思いますが、現在、子ども達を預けていらっしゃる保護者の方々はどういうお気持ちなのかというのをお聞かせしていただいたら、いわゆる当事者というか親御さん方は子どもの教育について、保育についてどう思われているのかということが1点聞きたいことと、文化芸能フェスティバル、私いつも司会させていただいているのですが、カラオケから日本舞踊から、最後は振袖の着付けのファッションショーに至るまで幅広い発表で、ここ最近、子ども達の登場は無いのでこういうところに子ども達の合唱とか日常の様子でも何でもいい、日曜日だったか学校のお休みの日だから難しいと思うのですが、地域の方々に発表するという機会にもなりますし、地域の方々も学校で子ども達がどんな様子でいるかわかっていただく機会なのでちょっと検討していただけたら有難いかなと思います。

それから、学校訪問です。一番印象に残っているのが黎明館の見学で凄いなと思いました。至れり尽くせりで、4万円で全部が賄える。電気水道朝食夕食お部屋代はさることながら、ちょっとありえない現実なので、電気の浪費なんか繋がるのではないかと、そこは大事に甘やかして育ててもいいのではないかっていうのもあったのですが、大学生とか、社会に出てから浪費癖が抜けないと本人たちが困るのではないかと、現代の電気代の高さとか、高校生ならば認識すべきとか節約とかです。もうちょっと寮費を上げるとか、上げないから節約を皆で心掛けましょうとか生活指導があってもいいかなとは思いました。でも、あそこまで恵まれているからこそ県内で倍率No.1になるだろうかなと思いました。

あと、いろんな所を見させていただいた中で、道徳の授業で、私が道徳宗教関係の仕事をしているからかもしれませんが、もっと情操教育っていうか今の若者が強盗やら殺人事件につながるような事件が多発している中で、学校での道徳の授業って大事だと思います。だからもう少し盛り上がるような授業、何ならちょっと飛び込んでいかせていただきたいくらいの気持ちで拝見したので、算数や数学や国語や理科も大事なのですが、その根底をつかさどる情操教育っていうか道徳をもうちょっと重視していただけたら有難いなと思いました。

園田次長)

修道保育所の保護者の意見という事ではありますが、保護者の方は概ね現修道保育所に通っておられる方ばかりのご意見でしたので、それについては地元で保育所があって通ってほしいという意見が大半であります。人数が少なくなっていますのでいろいろと不安を持っておられる保護者の方もおられまして、通うとなるとバスが出るのであるとかかそういうようなことも不安がありましたのでこれについてはまた、今後も意見交換を続けていきたいと思いますという形で保護者との意見交換を行っております。

清胤委員)

いろんな意見が出たと思うのですが、大きい声が大多数とは限らないっていうのもあります。一番は保護者の方々の気持ちが大変だと思います。

亀岡主幹)

道徳教育についてですが、町内では考えて議論する道徳を各学校で取り組んでいるところ
です。先日、加計中学校であった研修を見ていると、ルールは何のためにあるのか、決まり
はどう守るのかということ子ども達が議論しながら、道徳の教科書を読んだ後に、受験に
間に合いそうにない時に赤信号だったら渡る、どうするとかっていうような自分に近いよう
なところを切り返しながら、ルールを守ることに子ども達が考えるような授業をして
います。先生方も道徳を子ども達にどう考えさせてどう自分事の課題にしていくかというこ
とを試行錯誤しながら取り組んでいるところなので、今日頂いた声を生かしながら、また、
機会があれば見に来ていただいて一言、子ども達に声をかけていただけたらと思います。

瀬川課長)

芸能フェスティバルへの子ども達の参加についてですが、以前、各地域に子ども神楽が定
着していた頃は、フェスティバルにも参加していただいた経緯がありました。民謡でも子ど
も達が参加していただくなど、そういった活動が低迷している状況の中でなかなか参加が得
られない状況ではありますが、子どもから大人まで参加できる形で募集はさせていただいて
おりますので、しっかりと声掛けはさせていただきたいと思っております。

黎明館での生活指導についてですが、冷房を18度にずっと入れている状態の子どもさん
もおられ、それを登校した際もずっと入れたまま放置しているような生活実態があり、生活
習慣についての指導を、指定管理者である JOCA において舎監を配置して対応されており、
各学年からそれぞれ男女の代表が集まって組織している寮生会や毎日夜9時に寮生全員が
集まって点呼する際にこういった気づきであるとか周知させていただきながら、しっかりと
集団生活の中における生活指導を行っているところです。

小田委員)

学校訪問させていただいて、今もお話がありましたが、人数が減っていますあさひやとご
うちにしても人数が半分くらいに減っていて、今後の先行きが心配だなんていうのがありま
す。どの学校であっても校長先生を中心に良い学校にしていきたいという思いが強く伝わ
りました。その中で各クラスによって差が凄くまとまっているクラスがあったり、そうでな
いクラスがあったり、差が出てくるのでそれは保育所からの繋がりなのかどうかその担任の
先生によるものかわからないですけど、同じ1年生でも学校によって凄く授業が聞ける学校
があったり、そうでない学校があったり、今後人の話を聞くっていうのが出来ない1年生と
か1年生ならもうちょっと聞けてもいいかなと思うところがありますので、そういう子ども
が増えてきているような印象がありました。

亀岡主幹)

1年生含めて各学校、各学年いろんなカラーがあるのかなと思います。子ども達の成育と
かもありますし、いろんな家庭の状況いろんな子が集まる中で、各担任の先生方が実態に合
った学級づくりをしていくのかなと思います。先程言われた話が聞けないというところも先
生達が子ども達にどういった指導があっているかなどについて考え、時間をかけながら子
ども達の聞く力、聞く姿勢という力を付けていきたいと思っておりますので、気づかれたことがあり
ましたらいつでも言っていただけたらと思います。

教育長)

ぜひ良い機会なので、就学前と1年生の接続についての話しもよろしいでしょうか。

佐々木主幹)

私が園所にいろいろ行かせていただく中で、園所長先生がよく言われるのが、昔は出来ていたことが最近はなかなか出来にくくなっていることがあり、なんでかねといろいろ話をされています。その中でも、橘先生に入って発達的な所も見ていただいている中で、家庭での過ごし方というわけではないのですけれども、過ごしてきた環境とかそういった所の変化も大きく影響しているのかなという話が出てきました。折り紙を折りましょうってなった時に私達であれば机の上に紙を置いてピンと指で折っていきますよね。でも、子ども達は、手で折ろうとしていた。どうしてこういう現象が起きたのかなって考えた際に、ゲームをその子はよくしているそうで、そういった操作をしているからこそこでの操作が増えてきているから折り紙も同じように操作しているっていうように時代の変化に伴って、子ども達の生活も変わってきていて、保護者の方の価値観も変わってきていてという中で子ども達は今、生活をしているという事を私達教員がまずはしっかりと把握して、だからこそ今言われたように一人ひとりの園児児童の実態がかなり違ってきているので、そこをまずしっかり見取り、それに沿った手立てを考えていくといったところが必要になってくるのかなと思いました。園所の接続に関しましては、本町では3回ほど保小合同研修会を行っています。その中で大事にしていきたいところとしては小学校において、園所での保育の考え方を大切にしたい教育に取り組んでいきたいと思えます。今までの接続で言いますと、小学校に向けて準備をこういう準備をしておいてください、これが出来るようにしておいてください、箸を持つようにしておいてください、座れるようにしてください、そのような連携が多かったと思えますけれども、園所で大事にしている一人ひとりの良さを生かしたような保育が学校教育にも生かせるのではないかなということに気づいてもらえるような研修を行っております。

河本委員)

学校訪問に行かせていただいて一番感じたのは、保育所とか学校の先生達が子ども達の環境をいかに整えるかっていうところで、凄く力を尽くしておられるっていうのが一番感じました。特に併設している筒賀の保小だと、連携が先生方の連携と子どもの連携ともっと言えば、保護者が子どもは卒所したけど、また保育所の方に相談に来られることがあったのですよと言われていたので、あの辺はすごいなと思いました。少人数で近くにいて目に見えて出来るので素敵なことだなと思いました。環境もきれいに整えられて、そこは感動して帰りました。先程から子どもの成長とか今と昔とが違うって話が整えられることになれてしまうとか、贅沢になるというか、当たり前を感じてしまうっていうのもあるかなと思います。黎明館の生活ルール、高校生の生活ルールみたいな環境の話がありましたが、もうちょっと人の目を気にして、自分はこうしなきゃいけないと思ったり、厳しい言葉に触れたりすることもいるのかなと思って訪問を終えて感想として思っています。

池野委員)

学校訪問についてあまりスケジュールが合わなくてもれたことがあるのですが、少ない中での感想ですが、この頃入学する人数が少なくなっています。複式学級がこれから町内どの学校でも当たり前になってくるとは思いますが、単式学級に慣れておられる先生はおられる

と思いますから、そういう意味では非常に力が試されるというか大変だろうと思います。時間数が決められているその何倍かを求められると思うので、その辺のことが心配です。教育委員の研修会でも不登校について課題になっていましたが、町内でも増えていると思いますがその辺の状況を知りたいです。それから、教育委員研修に対する雑感ですが、研修を開く会としてヒントをもらえるいい機会なのですが、アルバムのようにスクリーンに投影される資料が遠くからでは判読不能です。手元にもらった資料もデータが多すぎて判読に困る。一方、ギガスクールでパソコンは3月からしかないのだそうです。だから件数がICTをいうならタブレットを全員教育委員に配付してそこで見せられたら、よくわかるのですが、あれは今のままならただのアルバムです。訳のわからないものを更新されて、それを持って説明するので、無くても良いみたいなものです。

清水主幹)

皆さんのお手元にあるパソコンは安芸太田町教育委員会が皆さんに一人1台お渡しできる環境が整っておりますということをまずお伝えさせていただきます。複式学級につきましては、現時点で言いますと戸河内小学校、筒賀小学校が本来の児童数であれば複式学級となっておりますが、町費の教職員で賄って、単式学級を維持することが出来ていますが、これが長く続くとは思えないような状況は我々も含めて、各校の校長の方もそういう見通しを持って数年先を見越した指導の方をしていただいております。筒賀小学校であれば複式学級にいつなってもいいようにリーダー学習という事で子ども達がどんどん主体になって授業そのものを進めていくような仕組みを今作って実践をしているところです。もちろん、複式学級になってくると人事にも関わってきますが、北広島町の中においても複式学級のある学校はもちろんありまして、複式学級を経験されている先生が来られることもありますし、今の安芸太田町内におきましても複式学級での担任経験がある方はおります。少なくとも本町の校長全員、複式学級の担任経験者になっています。そういうノウハウを伝えながら、今の子ども達に求められる力っていうのを高めていけるような授業づくり、学校運営というのは、教育委員会でもサポートしながら進んでいきたいと考えております。

亀岡主幹)

不登校についてですが、一昨年度が一番ピークの数だったかなと思います。昨年度は少し減って、今年度は今のところ昨年度と同じ位の不登校の人数になるのではないかと思います。不登校がない学校もありますが、欠席が30日超えている子どもがいる学校もあります。今のところ、まったく学校に来られていない子はいません。何日か来られなくて、また来てとか、ちょくちょく休んだりして結果30日を超えている子がいます。来られていない理由は、自分でも理由が判らない、なんとなくだるいから、たいぎいから1回休んでしまって生活のリズムが崩れて、朝、起きられなくバスに乗れなかったからなど来られていないなどです。学校は保護者や本人としっかり繋がりをしながら話をし、子どもの気持ちを聞きながら保護者とも連携して、学校に復帰するっていうところを急がずに子ども達の様子をしっかりと見ながら取り組んでいるところです。なかなかすぐに来られるっていう状況になるのも難しくはありますが、学校は、本人の将来の事を考えながら、社会的自立に向けて取り組んでいるところです。

園田次長)

複式学級等については主幹が述べたとおりでございます。小田委員からもありました子ども達が減っているのが今後のことが心配だということもあります。教育委員会としては就学前の保育の在り方、学校の適正配置については当初の計画通りのもので現在遂行しているという形で思っていますが、そこからまた一気に少子化も進み、年間10人前後の出生数しかないという時代に突入しており、ここ数年後には全小学校を足しても100人に満たないというようなところにはもうすぐ来るところは目に見えているところですので、町費で教員を負担するというのも限界でございます。複式学級でどのようにしていくかという事も考えないといけませんし、少人数学校の運営の方法、学校適正配置の新たな考え方も検討しないといけない時期が来ることも考えられますので、保護者のご意見でありますとか、地域の意見を聞きながら教育委員会の方針を取りまとめていきたいと思っています。タブレットにつきましては、教育委員会会議において基本、パソコンでペーパーレスを図っておりますが、実は議会も議員一人タブレットを貸与されまして、来月12月定例議会から基本ペーパーレスの議会が始まるようなところの準備をしております。教育委員会会議においてもどのようなことが出来るかということはまだ少し進化させ、一人1台委員さんにタブレットを持っていただくことも、将来的には検討する必要があります。例えば、議案を事前に見ていただいて個々の審議を活性化させるということも考えさせていただくところです。県教委の研修につきましては、教育長を含めまして事務局からも県教委に話をし、タブレットの貸与であるとかデータをクラウド保存してこちらから見られるような方式にするとかということも提言してまいりたいと考えております。

小田委員)

安芸太田町一人一台タブレットを小学生、中学生が持って、毎日家に持って帰るのですが、ゲームをやっているって言う保護者の方だったり、無くしたり、壊したりとかあるって聞くのですが、管理はどのようになっているのでしょうか。

亀岡主幹)

学校では、基本、家で学習するように持ち帰らせ、管理についてはフィルタリングもかけて、検索ワードによっては、受け付けないような設定にしています。ゲームに没頭するっていう情報を聞いていませんので、改めて学校に確認します。

学校でも十分に使い方の指導を含めて行う必要はあり、校長会であるとか、ICTの担当者にも話しをして、気になることがあれば直ぐにチェックさせていただきたいと思います。

清胤委員)

人数が減るって言う話しではハーとか、フーとかになりがちなので、まるで発想を転換させて、人数が少ないからこそそのすばらしさっていうのを、より発信していくべきだと思います。町外から子どもを預けてみようかと思われる保護者の方が出てくるのではないかって思ったことは、保育所やこども園とかを見させていただくのに、先生方にお聞きしたら病気があまり発生していないってことを聞きました。4月からほとんど休む子がいないっていうのを園長さんから聞きまして、うちの孫は京都にいます。救急車に乗る、入院するのを繰り返してございまして、赤ちゃんを預かると、べーって舐めたのを次の子がべーって舐めて病気が蔓延するかなと思っていたのですが、きちんと外から帰ったら全員がクラスごとに、

洗面所が一か所じゃなくてクラスごとにあって、そこで手を洗いきれいにして、それぞれに家から持参したもので自分たちが飲んでる。だからジュースの回し飲みとかも全くなく生活が出来ていたので、そういうことが出来る保育所やこども園は、都会には在り得ないと思いました。人数が多いから出来ない、少ないから出来るっていうことで、病気があまり蔓延しない素晴らしさを発信していくべきと思いました。複式学級も単式の方が学習レベルは先生方も大変ではないと思うのですが、兄弟のいる家庭では、お母さんがいわゆる複式学級の担任みたいな役割をもち、その中でやっていくのに、年齢が違うからこそ思いやれる、リーダーシップも取れるとか、単式で起こり得ないことが深まると思います。だからそういう事も発信していく、都会では複式学級を体験したくても出来ない、出来るよというより家庭に近い温かい本物の教育が出来ますような発信をして、生徒数を集めていく方法もあるのかなと思いました。

河本委員)

子どもが増えるというのは町長さんがしっかり働く場所を作って、誘致してもらおうとか、住むところは作っているとしたら、働く場所を確保することと元気な方達が文化芸能フェスティバルを大人が活気づいてやっておられますが、その中間層がスポッと抜けているのではないかと思います。学校でしているようなことを芸能フェスティバルで合唱とかもやろうと言えれば出来るけど、中間層の姿が見えないなと感じています。そこをいかに活気づけるか、出来るのか安芸太田町の課題だと思いますので、何かいい方法が無いかなと。成人式後のウイスキーを配るのはまだですよね。皆さんが帰ってきて出来るのって、あれくらいしか知らない。昔は、体協で地域ごとにバレー、卓球、ソフトボールを集まってしていたのを聞くのですけど、今は無いですよね。何か仕掛けられないですかね教育委員会主体で。先程生涯教育が大事って何か仕掛けていくことがあればいいサイクルで回り始める何かのきっかけにはなるかなと思います。本気で若者の姿が見えない。

教育長)

いろいろご意見ありがとうございました。それでは次に移りたいと思います。

日程第4 報告・協議

教育長)

報告・協議 1 服務規律の厳正確保と懲戒処分の方針の一部改正についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

清水主幹)

(服務規律の厳正確保と懲戒処分の方針の一部改正について説明)

教育長)

何かご質問等ございませんでしょうか。

清胤委員)

発想の転換で、こういう事例が大変増えたから標準点を上げますとか、こうならないため

の施策を打つ方が最初ではないか、こういうことが増えた、増えたから処分する、規程を増やしますではなくて、どうやったら起こらないようになるのかっていう事を忙しいので、なかなか難しいとは思いますが、どうして人を指導していき良い方向に子ども達を導くよう仕事について先生達がどうして真逆の行動を起こすのか不思議ではありません。

清水主幹)

清胤委員さんがおっしゃったとおりで、そんなことを起こさないために教職員はどうあるべきか、教職員集団としてどうあるべきかということは今、各学校でも、最近よく言われる言葉が心理的安全性という言葉があって、職場がやりがいを持って出来たり、自分らしくやりたい、他の先生方が言いたいこと、思いを伝え合えるよう職場学校関係を作るためには、どのような心掛けが必要かということは、各学校で研修を進めているところです。厳罰化するということと罪を起こさないための教職員の育成を同時進行で進めているところです。本町としては、不祥事を起こさない町づくり、学校づくりというのは継続して進めていきたいと考えておりますので、そのような服務研修を進めていきたいと考えております。

河本委員)

性癖をもってして、趣味の延長でその職を選ぶみたいな人がいるとは思いますが、適性検査をすることってあるのですか。採用の時点でそういう人は治らない人も多分おられ、保育士とかでニュースで聞くから、本来治るでしょって思いますが、預ける方としたら怖い思いをされているとは思いますが。

清水主幹)

教職員を採用する側の検査とか試験がすごく重要になってきます。採用試験をする際には必ず面接もありますので、そこで人となりを見るのももちろんですし、県教委としては採用の際には、いろんな情報を得ながら教員として使命を全うできるかということも判断したうえで最終的に採用していると思います。でも無くならないというのも事実なので、研修も同時進行で進めていきたいとは思っています。

園田次長)

学校の場合は、県の教員採用試験で事前でのところがありますが、保育士の試験は、今年度から、保育士を採用する際において、採用を決定した時点で、事前に国のシステムとこども家庭庁が作成しているものとアクセスして逮捕歴であるとか、犯罪歴であるとかっていうのを確認できるものとなっており、確認しないといけないという形に今年度の採用からなっております。誰でも見られるわけではなくて人事担当者だけで、本町では、正規職員は人事担当課長の総務課長で、会計年度任用職員を保育士で採用する場合は私が確認できるように、国のシステムにアクセスできるようになっております。おそらく教員も同じようなことが県教委で行われており、事前に確認できるシステムというのは当然、犯歴が無いかは確認が難しいですが、採用においては事前に確認しないといけないような制度に変わっています。

教育長)

私が校長で、小学校に務めた時に、その教員はそういう気持ちで入ってきたのではないけ

れども、嗜好がその方向にあるなと思うようなことがありました。その場合、他の職員と相談しながらしっかり気にして欲しいとは話しましたし、本人と話をする機会を持ちました。犯罪歴が無い場合はそういうケアも必要であると切に感じました。

河本委員)

その際面接されて、ご本人と結構深い話はされたのですか。

教育長)

どういう趣味があるとか、どこまで話ができるかですけれども、パソコン上の最初の画面にそういう子どもを扱うようなアニメの画面を取り入れていたのです。児童生徒との一緒に撮った写真、個人的に撮った写真を机の上に置いておくというようなことがありました。思い出の中でというそういう気持ちが無くても、そのようなことをする時があるので、そういう人についてはよく注意する必要があると思いました。出来るだけそういう方向に向かないような取り組みは校長先生方も気を付けておられるとは思いますが、職場の同僚の方からあの先生そういう傾向があるのかもしれないねという話を伺うことがありました。

河本委員)

コミュニケーションが取れている学校だなと感じましたので。

教育長)

多分それは感じられていると思います。例えば小学校一年生、二年生の担任の先生だったら子どもが寄ってくるのです。それをちょっと膝の上に乗せるという行動が若い先生で目立ったら本人はそういうつもりは無くても、そういう形に繋がってしまう可能性はあり、そういう見取りだだと思います。

清胤委員)

それは、違和感を感じられた時には、校長先生、教頭先生が対応されているのでしょう。

清水主幹)

もちろん、されています。定期的な面談だけではなく、日頃の教職員同士の会話の様子とかも管理職はすごく気を配っています。今年度から、学校の教員の端末も今私が持っている持ち運べるノートの端末になっているので、校長先生方も職員室で仕事出来る時間が増えたと言われていいますので、先生方の会話の様子も見えるし、校長室にいると見えない姿もよく見えるから、新しい端末になって良かったという声を聞きますので、日頃の授業以外の先生方の姿というのも管理職は気を配っておられます。

清胤委員)

これも逆の立場から見てもらって自分の嗜好とかしたいことをちゃんとするとかなんかでごまかすのではなくて、された方がどれほどのショックを長年引きづられているかと。免許更新の時にブルーだったりすると長く見せられるではないですか、事故の様子だとか、危ないとか、ああいう感じでされた方の保育園で被害にあった女の子がどこまでそれを引きづっていかなければいけないのかとか、自分のしたいことをぶつけることで相手がどうなって

いくのかってというような物語を研修の時に見てもらおう。絶対にしたらいけない、こんなに人の人生を狂わせるのだよというのはどうなのでしょうか。

清水主幹)

参考にさせていただきます。もちろん被害者側の立場に立つということは一番大事だと思いますので、サービス研修の中でそのような研修もしています。このような研修をいかに自分事として捉えさせるかということも大きな課題だと思いますので、側面からのアプローチをしていけるような研修を各学校が行っていくことが不祥事防止に繋がるのではないかと考えております。

教育長)

報告・協議2 冬季一斉閉庁についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

清水主幹

(冬季一斉閉庁について説明)

教育長)

何かご質問等ございませんでしょうか。

(意見なし)

教育長)

報告・協議3 専決処分の報告について(安芸太田町教育振興基本計画検討委員会委員の委嘱について)を議題といたします。事務局より説明をお願いします

園田次長)

(専決処分の報告について説明)

教育長)

何かご質問等ございませんでしょうか。

(意見なし)

教育長)

以上で本件の審議を終わります。続いて先程公開しないと決定した議案について審議を行いますので、傍聴席の方はご退席をお願いします。

日程第3 議事 (非公開により審議)

議案第29号 安芸太田町教育支援委員会委員の委嘱について

教育長)

本日予定しておりました日程は全て終了いたしました。
次回の教育委員会議の日程調整をお願いします。

以上で予定しておりました

(次回の教育委員会議の日程調整)

12月17日火曜日ということをお願いします。

以上で令和6年第11回教育委員会議を終わります。ありがとうございました。

(午前10時46分 閉会)